

2025年の始まり 筆に思いをのせて

冬休みが明けてすぐの1月10日に、稲田小学校の体育館で5年生の席書会が行われました。「言葉は心」「笑って一日」「聞き合う心」「変容の年」「共に生きる」「想像する力」「集中する力」の中から、自分の思いに合った言葉を一つ選んで、臨んだ席書会。子どもたちは、真っ白な画仙紙に向き合い、一画一画を大切にしながら、それぞれが筆を進めていきました。



書き終わると、手本と見比べ、どこに気を付けるとも

と上手になるか考えたり、手本をなぞってみたりと、納得のいく一枚を書き上げようと精一杯頑張る姿が印象的でした。

今年は、最高学年である6年生になる年です。それまでの残り三ヶ月。5年生としてやり残しがないように頑張りたいという気持ちが、この書き初めの姿に表れていたのかもしれませんが、「いつもより時間が早く感じた」「上手く書けてうれしい」

「家で書いたときの方がよかった。もう一回やりたい」「〇〇さんの字がすごくきれい」など、たくさんの感想が聞こえてきました。

上手くいくこともそうでないこともあり、いろいろな想いが生まれます。その気持ちを胸に今年一年を頑張りたいと思います。



来年度の予行演習!? 幼保小交流会

1月28日、稲田中学校区の幼稚園や保育園の子どもたちが、稲田小学校に来ました。5年生は、来年度の1年生と交流する機会が多くあります。そのため、今から少しでも仲良くなろうと、今回、特別に交流の機会を設けさせてもらいました（例年は1年生だけが交流です）。

5年生は、GIGA端末の体験として、クイズ大会を企画しました。各クラスで考えたクイズを出題し、園児たちがGIGA端末で回答します。子どもたちは、視線を同じにして、優しく丁寧にクイズのヒントや答えの書き方を教えていました。

教室には、温かな雰囲気になり、笑顔溢れる充実した交流会になりました。

